	通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	巡回発	達相談事業				事業開	始年度 平	成18年度		
担当課	健康福	証祉部 こども	政策課		担当者	佐	藤 和子			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な							
13 - 11 - 11 11	基本事	第 01	幼児教育・保	保育サービ	スの充実					
+ W 0 5 44			の保育に対する保			かに助言を受け	けられる。			
事業の目的		・配慮を要する児童への適切な保育環境が提供される。								
		公認心理師等による児童の発達状況の確認及び保育士への指導を各保育園で実施する。(保								
事業の概要		対する研修)	<u> </u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			- 7	\ P1\		
■事業実施結果										
		年度	5年度		6年		7:	年度		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績	当初			
	総事業費 1.84				1, 8					
■前年度の事業分析【評価 (Check)】										
	指標	+15.4	亜 夕 	光上	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	拍	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
比価の批ね		配慮を要する児	童の保育に対する助		414	270	450			
指標の推移	成果	言を受けた保育	士の延べ人数	人	414	378	450	450		
	評価	「 ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		定期的にリ	見童の発達状況を	確認し、保	育士の指導に	活かすことが	できた。			
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	除地なし			
■将来方向性【	改善(Action)]								
事業の方向性	●見直		見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									

事務事業調書(通常評	福事業 事後	評価)							
事務事業名	施設型	‼給付・地域₫	!給付等事業			事業開	始年度 平	成26年度		
担当課	健康福	副祉部 こども	政策課		担当者	佐	藤 和子			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な							
		本事業 01 幼児教育・保育サービスの充実								
事業の目的	民間保	骨施設が円滑	に運営され、適正	こな数の児	童の保育が行れ	つれている。				
事業の概要	する。		、公定価格に基つ	うく運営費(の給付及び特別	川保育事業に対	付し補助金を交	付		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7年	度		
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実	績	当	初		
		総事業費 1,229,198				, 916	1, 533	5, 596		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	上	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	ホロが	+ 12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	市内の民間保育	施設に通う児童数	人	816	1, 038	1, 020	1, 040		
	成果	特別保育実施率		%	100	100	100	100		
	評価	插 ●達成、	既ね達成した (つ多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の	= 24 0		没に滞りなく適正	に支払いを	行なうことが	できた。				
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	○数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし			
■将来方向性【		Action)]								
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性										

事務事業調書(通常評価	西事業 事後	評価)							
事務事業名	ファミ	リーサポート	・センター事業			事業開	開始年度 平	成16年度		
担当課	健康福祉	祉部 こども	政策課		担当者	佐	藤 和子			
■事業の執行計	画【計画	🗓 (Plan) 】				·				
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な							
	基本事業	業 01	幼児教育・保	ママス マイス とうしょ とうしょ とうしょ とうしょ とうしょ とうしょ とうしょ とうしょ	スの充実					
古米の口む	育児に関	育児に関する相互援助活動を推進し、地域での子育て家庭への援助体制を整備することによ								
事業の目的		り、仕事と育児の両立を図る。								
古米の畑田			社会福祉法人さく	ら市社会	福祉協議会に	委託する。				
事業の概要			に1時間当り600円							
■事業実施結果	【実施									
		年度	5年度		6年	 F度	74	年度		
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実	<u>:</u> 績	빌	7年度 当初 2,745 7年度 8年度		
	総	事業費	1, 663		2, 0					
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+6+	 票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	打日1	宗石孙	単型	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果 +	1+° 1 + 1 +	くれる市民登録件数	,	52	55	55	55		
担保の推修	00米	アルートをして	くれる印氏豆球件数	^	32	ออ	ວວ	ออ		
	成果 +	ナポート利用件	*4	□	60	188	190	190		
	八米 :			_	• •	100	190	190		
	評価	0 (2,777)多少は達		፤成できず				
達成度の		提供会員数	女、両方会員数が	増加し、ホ	川用件数も増加	1した。				
評価と説明	月 説明									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 〇分	戻地なし しょうしん			
■将来方向性【	71 (::	ction)]								
事業の方向性	●見直			○廃止・			·			
資源方向性	予算	額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	●現状 〇縮小	\		

事務事業調書(:評価)							
事務事業名	子育て	短期支援事業				事業開	開始年度 平	成18年度		
担当課	健康福	祉部 こども	家庭センター		担当者	加加	藤 咲楽			
■事業の執行計										
	政策	02	福祉の充実と							
総合計画体系	施策	05	安心で安全な	≩子育て環	境づくり					
		基本事業 01 幼児教育・保育サービスの充実								
事業の目的	家庭で	の養育が一時	的に困難となった	:児童の保証	蒦					
事業の概要			由により、一時的 福祉法人養徳園、					養		
■事業実施結果		(Do)		<u> </u>						
		年度	5年度		6年	度	7年	F度		
事業費の推移	実約	責/当初予算	実績		実	績	7	i初		
		総事業費	1, 040		1, 1	35	2, (002		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	ti: t	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	JH1	示 17 17 17 <u></u>	辛四	実績	実績	計画	計画		
指標の推移		延べ利用日数		日	160	190	190	190		
	成果	委託児童数		人	26	24	24	24		
	評価	」 ●達成、	既ね達成した()多少は達	成した 〇達	成できず		•		
達成度の		延べ利用日	B数が増加。養育	困難な家庭	€に対して必要	な支援を行う	ことができた	0		
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	,●粉年内/	こ見直し可能 ()全地はな	るがまだ時間	が必要 ○台	<u> </u>			
		Action)		ノ /下 ^y 凹 l ひ (V)	.のい.ひ/ご山田	1/3 %C) SC O 7	いからな し			
事業の方向性	〇見直		現状どおり継続	〇廃止・	<u></u> ≑7					
<u>事業のの同性</u> 資源方向性			: 〇現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小			
ティル・アンコーコーエ	- ブラ				不切主					

	通常評価		:評価)							
事務事業名	たいよ	う保育園管理	運営事業			事業開	開始年度	平成20年度		
担当課	健康福	祉部 こども	政策課		担当者	君,	島清美	清美 建康的な育成や 3こと。 園時間は午前7 7年度 当初 144,693 7年度 8年度 計画 計画 8 88 6.6 36.6		
■事業の執行計	画【計画									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な							
	基本事	業 01	幼児教育・保							
+ 414 0 T 44						子どもたちの)健康的なで	育成や		
事業の目的										
	社会性の向上、保護者の仕事や生活の支援、そして地域社会の発展につながること。 年齢に応じた保育業務、市長が決定した額の保育料、給食費を徴収する。開園時間は午前7									
事業の概要			持30分まで。	, C 13, C 5 F C 1	7111 11122		111111111111111111111111111111111111111	1 113 7		
■事業実施結果		(Do)	- 1							
		年度	5年度		6年	 : 度		7年度		
事業費の推移	実績	/当初予算	実績			績				
1.21.35.12.12		· 事業費	98. 240		115,		1	清美 健康的な育成や ること。 園時間は午前7 7年度 当初 144,693 7年度 8年度 計画 計画 8 88 6.6 36.6		
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標		- = 5 14	3271	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指有	票名称	単位	実績	実績		計画		
15 IT 0 14 Th				٠,						
指標の推移	活動	定員充足率		%	72. 3	88. 8	88	88		
	ソナエリ		- L	0/	0	00.0	00.0	00.0		
	活動 -	一時保育の受けん	人れ率 (%)	%	0	66. 6	36. b	36. 6		
	評価	●達成、村	既ね達成した()多少は達	成した 〇達	成できず		•		
達成度の							育を実施す	ることができま		
評価と説明										
	дубуј	0.20								
見直し余地	判定	●数年内(こ見直し可能 ()余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし			
■将来方向性【										
事業の方向性	〇見直	し継続 ●明	状どおり継続	〇廃止・ 3	完了					
資源方向性	予算				業務量	○拡大 ●	現状 〇紹			

事務事業調書(通常評	·価事業 事後	評価)						
事務事業名	たいよ	くう保育園地域	述活動事業			事業開	始年度	平成26年度	
担当課	健康福	証祉部 こども	政策課		担当者	f 八:	木澤 令恵		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				·			
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障				
総合計画体系	施策	05	安心で安全な						
	基本事	3業 01	幼児教育・保						
+ 414 0 F 44	保育園が地域社会と密接に関わり、子どもたちの社会性や思いやりの心を育成し、地域社会								
事業の目的		発展に貢献す		_ 0 0		. ,	.,,,,		
	多冊代問な流わ小学校な流 真影体設尉問 地域イズント参加などの活動を通じて 保育周								
事業の概要			地域住民のために				- Z - C - F		
■事業実施結果			B WEDGE	-747137 0					
		年度	5年度		6年	 ·度	要 7年度		
事業費の推移	実紀	漬/当初予算	実績		実績		当初		
1.21.35.42.12.12	総事業費 25					5			
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標		= <i>p 1</i> 4	224 / L	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	指征	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
15.1# O 14.75									
指標の推移	活動	交流延べ人数		人	689	689	600	600	
	評価	 ■達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず	<u> </u>		
達成度の			或活動(多世代交流				E夜の集い、	熟田小学校交	
評価と説明	説明		いちご狩り、施設						
11 m C 100-71	шло-л	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	3 = 77 77 %5112	,L(1-3) C) (1	вот шель	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1402 0 - 174 7 112	, _,_,,_,	
見直し余地	記伴	②数年内1	こ見直し可能 (分余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	き地なし		
		Action)		,,	2.0 0.12.11	, , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
事業の方向性		[し継続 ●明	現状どおり継続	〇廃止・	完了				
			、●現状 〇縮小	, - ,	業務量	○拡大 ●	現状 〇縮	_	

事務事業調書((評価)						
事務事業名	わくれ	っく保育園管理	里運営事業			事業開	始年度 平	成20年度	
担当課	健康福	冨祉部 こども	政策課		担当者	育	藤 美智子		
■事業の執行計	画【計								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障				
総合計画体系	施策 の5 安心で安全な子育て環境づくり								
	基本事	3業 01	幼児教育・保	マイス マイス マイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア	スの充実				
古米の口む			様々な理由により			呆育することか	「できない乳쇠	加児	
事業の目的			受けて保育し、養						
古米の畑田	年齢	と発達に応じ	た保育を行い、市	5長が決定	した額の保育料	4、給食費を徴	ぬ収する。開園	引時	
事業の概要			分から午後7時3						
■事業実施結果	【実施	(Do)]							
		年度 5年度			6年	度	7年	F度	
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績	当初		
	総事業費 69.				81,		98, 869		
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+15.4	亜 夕 Ұ-	光上	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	1日1	漂名称	単位	実績	実績	計画	計画	
151番の14.59	江玉	中是大口來		0/	57	57. 6	60	60	
指標の推移	活動	定員充足率		%	37	37.0	00	00	
	活動	性则况本 / 哇	+延長)の受入割合	%	96	95	100	100	
	冶勁	特別休月(一時	十進長)の受入割合	%0	90	90	100	100	
	評句	□ ○達成、	概ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず	•		
達成度の		全体の実績	責は減少している	が、一時保	育はR5年度06	牛、R6年度234	牛、延長保育(はR5年度73	
評価と説明	説明	月 件、R6年月	度92件の利用数の	増加がみら	れた。一時保	:育の利用希望	日に園行事が	重なり受け入	
	れができなかったこともあった。								
見直し余地	判定	○数年内	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	除地なし		
■将来方向性【	710	(Action)							
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	`	

			評価)						
事務事業名	わくれ	つく保育園地均	找活動事業			事業開	始年度 平	成26年度	
担当課	健康福	証祉部 こども	政策課		担当者	育	藤 美智子		
■事業の執行計									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障				
総合計画体系	施策	05	安心で安全な						
13 - 11 - 11 11 11	基本事	3業 01	幼児教育・伊						
+ W 0 5 4 4		児が地域の人々との交流を通して様々な経験をしていくことにより、生活経験が豊かにな							
事業の目的		る。また、保育園が地域に開かれた社会資源として理解を得る機会となる。							
		域の高齢者や小学生との異年齢児童交流、また地域住民など世代間の交流事業を継続的に							
事業の概要			い交流を通して豊					J1-	
■事業実施結果			· ×//// - × - × - × - ×	E10 0-7 (E11	<u> </u>	_ 0 2 H /% / 0	7 0		
ニテルスルがはれ		年度	5年度		6年	 E度	リ、生活経験が豊かにな となる。 間の交流事業を継続的に 育成する。 7年度 当初 178 F度 7年度 8年度 計画 計画		
事業費の推移	宝紅	漬/当初予算	実績			<u>凌</u> .績			
ず木貝の近沙	学 未 貝 の 推 内 タ					14		7年度 当初 178 7年度 8年度	
総事業費 188 114 178 ■前年度の事業分析【評価(Check)】									
一的一人以子不	指標				5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	指植	票名称	単位	実績	実績			
指標の推移	活動	交流延べ人数		人	178	210	150	150	
	評価	1 ○達成 は	既ね達成した	■多小仕達	成した 〇语	はできず			
達成度の	ДІЩ						レゼント贈早	1 1 1 1	
評価と説明	説明								
一田 二元切	一元ツ	とができた		1_0.1_0 &	、/こ、 2023(07/)	で図に口付し	人 川 で 戸 豚 畑	「貝女でリノこ	
 見直し余地	判定		-。 こ見直し可能 (오베() #	スがまだ時間	が必要 〇名	<u></u> き地なし		
		Action)】		ファンドロのの	.のり.ひ/ご山山	<u>」ル・北・安 〇カ</u>	<u> </u>		
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・	≑ 7				
資源方向性			<u>はんと 83 り 極税</u> : ●現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\	
貝까刀門工]/ 5				木衍里		ガス し船り	•	

事務事業調書(評価)								
事務事業名	幼稚園	事業				事業開	始年度 平	-成27年度			
担当課	健康福	証部 こども	政策課		担当者	佐	藤 和子				
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】									
	政策	02	福祉の充実と								
総合計画体系	施策	05	安心で安全な	『子育て環	境づくり						
	基本事	本事業 01 幼児教育・保育サービスの充実									
事業の目的	幼稚園	幼稚園、認定こども園が円滑に運営され、適正な数の児童の教育が行われる。									
事業の概要	支給及	び子育て支援	も園に入園してい 事業の補助金を交		号認定)に対	し国の定める	施設型給付費	<u>ි</u> ග			
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度 5年度			6年	- 度	74	年度			
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績	施設型給付費の				
		総事業費	225, 073		218,	036	248	, 391			
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
	指標	ti: t	票名称	単位	5年度	6年度					
	区分	JH1	示 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平四	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	1号認定児童数		人	322	288	270	260			
	評価	」●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇道	成できず	•	•			
達成度の		滞りなく、	適正に支払いを	行なうこと	:ができた。						
評価と説明	説明										
見直し余地	判定	? 〇数年内(こ見直し可能 (金地はあ	るがまだ時間	が必要 〇名	除地なし				
		Action)			2.0 0						
事業の方向性	〇見直		現状どおり継続	〇廃止・	完了						
資源方向性											

事務事業調書(評価)						
事務事業名	保育園	補修整備事業					始年度 佘	命和 4年度	
担当課	健康福	祉部 こども	政策課		担当者	田	代 直也		
■事業の執行計									
	政策	02	福祉の充実と	:安心の社	会保障				
総合計画体系	施策 の5 安心で安全な子育て環境づくり								
	基本事	業 01	幼児教育・伊	呆育サービ	スの充実				
事業の目的	公立保 る。	立保育園の施設及び設備を、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切な状態に維持す							
事業の概要	公立保	。 立保育園の施設及び設備の補修や整備について、現地調査・ヒアリングを行い、緊急度や 要度に応じて実施する。老朽化に伴う大規模改修は計画的に実施する。							
■事業実施結果	【実施								
	年度 5年度				6年	- 度	7:	年度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績		当初		
	総事業費		2, 680		44, 590		302, 600		
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	±≤÷	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	111	未口小	辛匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	要望対応率		%	100%	100%	100%	100%	
	成果								
	評価	」●達成、	概ね達成した (○多少は達	成した 〇道	成できず	•	,	
達成度の		老朽化に係	半う不具合解消が	図られ、安	そ全安心な保育	園運営が可能	となった。		
評価と説明	説明								
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	除地なし		
■将来方向性【		Action)							
事業の方向性		し継続 〇羽	見状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算				業務量	: ●拡大 ○)現状 〇縮小	\	

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	児童館	等管理運営事	業			事業開	始年度 平	成20年度	
担当課	健康福	証部 こども	政策課		担当者	田伯	代 直也		
■事業の執行計	画【計								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障				
総合計画体系	施策 の5 安心で安全な子育て環境づくり								
	基本事	業 02	子どもの居場	易所づくり					
古世の口む	児童の	健全な遊び場	、子育て支援の場						
事業の目的			後児童クラブを利		放課後の健全な	は保育や育成が	「図られる。		
古米の畑田			理運営を行う。氏					[:	
争耒の燃安	事業の概要 シダックス大新東ヒューマンサービス㈱、南:養徳園								
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度		F度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績	実績		績	当初		
		総事業費	164, 462		180,	342	189, 443		
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	t⊑:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	JH1	宗1717	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	児童センター及 者数 (延べ人数	び支援センター利用)	人	41, 961	41, 537	40, 000	40, 000	
		放課後児童クラ	ブ入所率	%	100	100	100	100	
	評価	」●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず	•	•	
達成度の		放課後児童	重クラブの入所者			待機児童を出	さずに受入す	ることができ	
評価と説明	説明		電センター利用						
	少した。								
見直し余地									
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性			!状どおり継続	〇廃止・	 完了				
資源方向性	予算		:〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 C)現状 〇縮小	١	

1 100 1 VIVE 1 V			評価)							
事務事業名	放課後	後子ども教室推	£進事業			事業開	開始年度 平	成19年度		
担当課	教育委	委員会 生涯学	智課		担当者	生	方秀典			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な	よ子育て環	境づくり					
10 11 11 11 11	基本事	事業 02	子どもの居場							
事業の目的		放課後の子どもの安全な居場所を提供し、地域の大人との交流を図る								
事業の概要 放課後に子どもの安心安全な居場所を設け、地域の協力を得て、スポーツ、文化活動、勉強 等の交流を推進する。喜連川小(水曜日)、押上小(金曜日)で実施している。										
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	73	年度		
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績		当初			
		総事業費	176		1:	56	2	229		
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6.	亜 夕 Ұ-	光上	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1百个	漂名称	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	ボランティア登	録者数	人	65	67	65	65		
	成果	申込児童数		人	79	72	70	70		
	評句	■ ●達成、	概ね達成した ()多少は達	成した 〇遺	成できず				
達成度の		押小っ子を	ふれあいスクール	と喜小っ子	ふれあいスク	ールにおいて	放課後子ども	教室が開催さ		
評価と説明	押小っ子ふれあいスクールと喜小っ子ふれあいスクールにおいて放課後子ども教室が開催さ 説明 れ、自由遊び・物づくり活動・交流活動を通して児童と地域住民との交流が推進された。									
見直し余地	判员	〇数年内	に見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	会地なし			
■将来方向性【	改善(Action)								
事業の方向性	〇見直	し継続 ●3	現状どおり継続	〇廃止・:	 完了					
資源方向性			、●現状 〇縮小		業務量	○拡大●	現状 〇縮小			

事務事業調書(通常評	福事業 事後	評価)							
事務事業名	放課後	&児童クラブ旅	西設整備事業			事業開	始年度 令	·和 5年度		
担当課	健康福	証祉部 こども	政策課		担当者	田	代 直也			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	02	福祉の充実と	宝安心の社	会保障					
総合計画体系	施策 切り 安心で安全な子育て環境づくり									
	基本事	業 02	子どもの居場	易所づくり						
±** 0 □ 44		故課後児童クラブ(学童保育)の利用者増に対応し、施設整備を行うことで待機児童の発生								
事業の目的	を防止									
—			している放課後児	童クラブ	(学童保育)	こついて、利用	用ニーズ等に	基づ しんしん		
事業の概要		画的な施設整			(. pivi . ,					
■事業実施結果										
		年度	5年度		6年		年度			
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績		<u>1</u>	当初		
		総事業費	83, 477		28, 2	268	615	, 829		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+15.4	亜 夕 	** / +	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1百1	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
比価の批ね	₽	北部後旧辛 5 =	ゴの体操旧主教		0	0	0	0		
指標の推移	成果	放課後児童クラ	ノの付俄児里奴	人	U	U	0	0		
	成果	放課後児童クラ	ゴの中号	人	835	932	932	1, 072		
	八米	水味後光里グラ	ノの足貝	^	000	932	932	1,072		
	評価	插 ●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇월	重成できず しょうしょう				
達成度の			が発生しないよう							
評価と説明	5と説明 説明 今後も増加が見込まれる保育ニーズへの対応のため、計画に沿った整備を実施していく。							していく。		
見直し余地	判定	≧ ●数年内Ⅰ	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性	●見直		見状どおり継続	〇廃止・	 完了					
資源方向性	予算額 ┃●拡大 〇現状 〇縮小 業務量 ┃●拡大 〇現状 〇縮小									

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	たいよ	くう保育園子育	「て支援センター	-事業		事業開	始年度	平成26年度		
担当課	健康福	冨祉部 こども	政策課		担当者	八	木澤 令恵			
■事業の執行計	画【計					·				
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な							
10 HHILITY		基本事業 03 子育で不安の解消								
			、保育・育児にお		の取得や保護者	看用十の交流.	また、子育	てに		
事業の目的			てできるようにす			11.12.00	01721 111	~		
			<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		恵相談. 游びキ	6道. 入園相談	と 情報の	提		
事業の概要			ントを行う他、他					17.0		
■事業実施結果		(Do)	<u> </u>			- X () (L C X - 3) C X 1 X				
		年度	5年度		6年			7年度		
事業費の推移	実	実績/当初予算 実績			実績		当初			
于不良V)正19		総事業費	201					289		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標				5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指 指	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
11-1										
指標の推移	活動	年間利用人数		人	208	158	200	200		
	評値	■達成、	既ね達成した ()多小は達	成した 〇達	成できず				
達成度の	H 1 1 1 1		<u> 現代を行るした。</u> 見模改修工事によ				<i>た</i> が HP‐	6子育で支援ア		
評価と説明	説印									
	説明 プリ「さくらっこ」での告知を通じた情報発信により、多方面にわたる企画が関心を呼び、 延べ158名の親子に参加いただいた。									
見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし										
		Action)		- /\\ - 10\ (J)	- W 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	1N 2L S 0 1	(<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>			
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・:	≘ 了					
資源方向性		算額 〇拡大		<u> </u>	人 <u></u> 業務量	○拡大●	現状 〇縮	//\		
灵顺刀门上	J. 2				へ 切 里		うらろ 〇十日・	,		

9 350 9 514 May 1 1	<u></u>		評価)						
事務事業名	子ども	家庭総合支援	{拠点及び家庭児	童相談室:	運営事業	事業開	始年度 4	合和 3年度	
担当課	健康福	証部 こども	家庭センター		担当者	加	藤 咲楽		
■事業の執行計									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障				
総合計画体系	施策	05	安心で安全な						
100 HILLIAM	基本事		子育て不安の		70 - 7				
		どもとその家庭及び妊産婦を対象に実情把握、こども等に関する相談、継続的なソーシャ							
事業の目的		レワーク業務を行い、保護者の悩みが解消し、こどもの安全が確保される。							
			、 休良日の個の別 こども家庭支援員				重託 マル 計画	リ マ	
事業の概要			ここ 0 3 歴文版員 応じている。関係				电四人は別に	-1/-	
■事業実施結果	【実施				主房出して囚?	<u>ം</u>			
■サ木大心心木		年度			6.5	- 	-	左座	
市米串の米玖			5年度			三度	7年度 当初		
事業費の推移		責/当初予算	実績		<u>実績</u> 13,776				
■☆左広の古米		総事業費	10, 135		13,	//6	21	, 780	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	741	ж п гт	-	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	相談解決率		%	25. 8	31. 8	30	30	
10/3/07/10/09	/ X / X	пихлич		70	20. 0	01. 0	00	00	
	評価	i ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇遺	<u> ほ成できず</u>			
達成度の		子どもに関	関する相談に対し	て、適正に	応じることが	ぶできた。			
評価と説明	説明	また、関係	系機関と連携し、	児童虐待σ)未然防止や早	期発見・早期	対応に努める	ることができ	
	t								
見直し余地	判定		こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	除地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性		算額 ●拡大			業務量	●拡大 C	現状 〇縮	<u>'</u>]\	
) (m) / J J T	, , ,	- 1/4/			/N/J/J		2371 O 11111		

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	利用者	支援事業(母	}子保健型)			事業開	始年度 📴	F成29年度		
担当課	健康福	冨祉部 こども	家庭センター		担当者	斎	藤 利江			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な	₿子育て環	境づくり					
	基本事	基本事業 03 子育て不安の解消								
事業の目的		家庭センター	を拠点に、妊娠期	flから子育 ⁻	て期にわたる。	までの切れ目の	つない支援を	行		
テ木ジロロ	う。		· - / I+ - I- I- I				/ 1 1			
事業の概要			必要な情報把握②					提		
			<u>③支援プランの作</u>	成4)吐産	帝寺文援会議(こて文援万針砲	美計			
■事業実施結果	【実施	_					T =			
+ ** # 0 14.15		年度	5年度			<u> </u>		'年度		
事業費の推移	実績/当初予算		実績			実績当初				
■☆左広の古巻		総事業費	7, 403		9, 9	143	10, 682			
■前年度の事業		評価 (Check)	1		F #= #=	C /= ri=	75.5	0.55		
	指標	指相	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分				実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	全妊婦に対する [∙] の割合	セルフプラン作成者	%	100	100	100	100		
	成果	退院後、産後1カ	・ 月程度、指導ケア	%	94. 3	94. 6	90	90		
		が十分に受けら		, •	• •	• •	90	90		
	評価				成した 〇遺					
達成度の		セルフプラ	ラン作成の割合は	100%で、	内容も工夫して	て妊婦に提示で	できた。産後	1か月指導ケア		
評価と説明	説明が十分に受けられたと回答した産婦の割合は増加した。									
<u>見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし</u>										
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性			<u> </u>	〇廃止・						
資源方向性	予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小									

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
	妊娠・	出産包括支援	養事業			事業開	開始年度 平	成29年度		
担当課	健康福	証祉部 こども	家庭センター		担当者	斎	藤 利江			
■事業の執行計	画【計									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な							
	基本事	本事業 03 子育で不安の解消								
±** 0 0 11	妊娠期	から子育て期	にわたるまでのり	れ目のなり	ハ支援を、ワン	ンストップ相詞	炎窓口において	7		
事業の目的			談支援を行い必要							
古世の畑田			ども家庭センター				5産後ケア事業	業を		
事業の概要	行う。	•								
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	F度	74	年度		
事業費の推移)推移 実績/当初予算		実績		実績当初		当初			
	i	総事業費	7, 677		13,	890	16, 555			
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+6.	票名称 票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1日1	宗	中位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	要支援妊婦に対	する支援プラン作成	%	100	100	100	100		
担保の推修	八米	者の割合		90	100	100	100	100		
	成果	退院後、産後1	か月程度、指導ケア	%	94.3	94. 6	90	90		
		が十分に受けら			• •	• •	90	90		
	評価)多少は達		を成できず				
達成度の		要支援妊娠	帚に対する支援プ	ランは全て	[作成すること	:ができた。4	か月児健康診	渣票で十分に		
評価と説明	説明 支援が受けられたと回答した産婦の割合は増加した。									
見直し余地	判定		に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 〇名	戻地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性										
資源方向性	予算額 ┃●拡大 〇現状 〇縮小 業務量 ┃●拡大 〇現状 〇縮小									

1 372 3 7 7 7 7 7 7 7 7	通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	乳幼児	健診事業				事業開	開始年度 コ	₽成29年度		
担当課	健康福	証祉部 こども	家庭センター		担当者	斎				
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			·					
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な							
	基本事	本事業 04 子どもの健やかな成長支援								
事業の目的	乳幼児	の心身の発育	・発達を総合的に	診査し疾り	病障害の早期:	発見・早期対応	なを図り、健	全な		
争未の日的	児の発	育発達を促す	とともに育児支援	そ行う。						
事業の概要			6か月・3歳6か月	5歳児健認	診・2歳6か月」	見歯科健診を年	F12回実施。	診		
		体計測等を実	施。							
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度			F度		年度		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	実績 当初		当初		
		総事業費	6, 616		7, 7	786	12	., 047		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1日1	未但你	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	 3歳6か月児健	診受診率	%	97 9	99	98	98		
コロリホマノリエリタ	/A.A.	O //X O // // // DC //E	w x w +	70	37. 3	33	30	30		
	成果		診でう歯のない児の	%	93. 7	88. 3	82	82		
		割合	(n= 1				02	02		
	評価			多少は達		産成できず				
達成度の			児健診受診率は	増加してい	いる。う歯のな	い児の割合は	低下している	5 。		
評価と説明	説明	1								
見直し余地	判定		に見直し可能	余地はあ	<u>るがまだ時間</u>	<u> 前が必要 〇新</u>	<u>k地なし</u>			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性										
資源方向性	一予第	算額 ●拡大	、○現状 ○縮小		業務量	<u></u> ●拡大 C)現状 〇縮/	.] /		

	通常評		:評価)					
事務事業名	こんに	ちは赤ちゃん	事業			事業開	始年度 平	成20年度
担当課	健康福	祉部 こども	家庭センター		担当者	斎	藤 利江	
■事業の執行計		画(Plan)】						
	政策	02	福祉の充実と	と安心の社	会保障			
総合計画体系	施策	05	安心で安全な					
4.0 HHI HII VIV	基本事	業 04	子どもの健々					
			児のいる家庭が必			ブスを受ける.	- とで 地域の	D 中
事業の目的			育成することがて			- 1 - 2 - 7 - 0 -		7 1
			<u>ラ産後うつ病質問題を</u>				赤ちゃんの気	5
事業の概要			ト記入により産 後				912 (270075	भाग
■事業実施結果		<u> </u>	「心人により圧し	₹ J J0J 1	<u> 初元元とりる。</u>			
■学术大心心木		年度	5年度		6年	:	74	 年度
古光井の併わ	中组	1 10-4						
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実			<u> </u>
■並左座の恵業	総事業費 3,729 5,009 5,252							
■前年度の事業		評価 (Check)	1	T	「左曲	0 左 由	7左由	0 左 垚
	指標	指相	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	,			実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	乳児全戸訪問の	実施率	%	100	100	100	100
14 12 - 2 14 15	77471							1
					D	15 . 1. 18		
	評価		既ね達成した (成できず		
達成度の			: る訪問受け入れ	.拒否なく実	『施できている			
評価と説明	┃ 説明 ┃							
見直し余地	判定	: O数年内I	<u> こ見直し可能 (</u>	<u> つ余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>]が必要 ●弁	<u>≷地なし</u>	
■将来方向性【改善(Action)】								
事業の方向性	事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了							
	予算		: 〇現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

			:評価)								
事務事業名	母子伊	R健推進事業 -					開始年度 平	·成26年度			
担当課	健康福	冨祉部 こども	家庭センター		担当者	斎 斎	藤 利江				
■事業の執行計	画【計										
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障						
総合計画体系	施策	05	安心で安全な	『子育て環	境づくり						
	基本事	基本事業 04 子どもの健やかな成長支援									
事業の目的	安心し	て子どもを出	産し、親と子が豊	とかに健やな	かに育ちあえる	ること。					
事業の概要	子支援	妥事業、就学支	、妊産婦への訪問 援事業)	引・面接・	相談、乳幼児の	の育児相談、発	Ě達支援事業	(親			
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年	度	7:	年度			
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	当初			
		総事業費	2, 086		2, 7	64	3,	7年度 当初 3, 251			
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
	指標	tĿ:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1 81	宗 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	丰位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	子の育てにくさ 法を知っている	を感じた時に解決方 親の割合	%	87	92. 1	90	90			
	成果	発達支援事業の	参加者延数	人	247	249	250	250			
	評句	Б ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇遺	成できず					
達成度の		子の育てに	こくさを感じた時	に解決方法	を知っている	親の割合は増	加。				
評価と説明	説明	月 指標2につ	いては横ばい。								
見直し余地	判定	E 〇数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし				
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性	〇見直			〇廃止・							
資源方向性											

9 350 9 514 May 1 1	- I - F I		評価)						
事務事業名	妊産婦	健康診査事業	ŧ			事業開	始年度 平	成26年度	
担当課	健康福	証証部 こども	家庭センター		担当者	斎	藤 利江		
■事業の執行計									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障				
総合計画体系	施策	05	安心で安全な						
10 11 11 11	基本事	業 04	子どもの健や						
+ 414 0 17 44									
事業の目的		経済的負担の軽減を図り妊産婦健康診査受診率を向上する。 未受診者について確認することにより虐待予防に務める。							
						全査 1か月月	健康診査の財	1	
事業の概要			契約できない医療					,	
■事業実施結果			<u>усит с оч ши</u>	() () () () ()	,,, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>				
		年度	5年度		6年	度	月児健康診査の助		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績	実績		当			
		総事業費	27, 097		24, 4				
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】									
	指標			24 / 1	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	指	票名称	単位	実績	実績	計画		
七冊の批抄	成果	受診票交付者の	うち、妊婦健診の受	ı	2 225	2 002	2 000		
指標の推移	八 未	診者数(延べ人	数)	人	3, 325	2, 602	2, 900	2, 600	
	成果	産婦健診(産後	2週間と1か月)の		518	461	450	450	
		受診者数(延べ			• • •		400	400	
	評価	[○達成、 核	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の		妊娠届出数	枚の減少により、	受診延べ人	、数が低下して	いる			
┃ 評価と説明 ┃ 説明 ┃									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (D余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	戻地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	予算	算額 ●拡大			業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	_	

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	児童医	療費助成事業	\{			事業開	始年度 平	或17年度		
担当課	健康福	証証部 こども	政策課		担当者	岡	田 裕美子			
■事業の執行計										
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な							
10 11 11 11	基本事	業 05	子育てのため							
			経済的な負担・イ							
争未の日的										
事業の概要			険診療費等に係る					度		
	は中3を	まで対象(中学	生は償還払いの	み)で、高	校生以上は市	単独事業とし	て実施。			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7年	度		
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実	績	当初			
		総事業費	232, 191		223,	458	206,	206, 466		
■前年度の事業	前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	宗	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	受給資格証交付		%	98	98	100	100		
付け示りが正何タ	八木	文和貝伯証人的	T	70	90	90	100	100		
	成果	負担軽減された	年間医療費総額	千円	226, 110	217, 701	200, 000	200, 000		
	=== /=		ᇑᇈᆂᅷᆝᆂ		-		,			
\ + + + + = =	評価			<u>)多少は達</u>		成できず	7 10 18+23-b b			
達成度の	= 1/ 00		けい環境になった			对する経済的	負担か軽減さ	れると共に、		
評価と説明	説明	疾病の悪1	上予防にも繋がっ	たと考えら	っれる。					
	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
見直し余地	判定		- 兄胆し可能 (ノボ地ばめ	るかまた時間	かめ安 ●第	<u> </u>			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性										
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小			

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	妊産婦	医療費助成事	業			事業開	始年度 平月	成26年度	
担当課	健康福	証祉部 こども	政策課		担当者	岡田	田 裕美子		
■事業の執行計		画(Plan)】							
	政策	02	福祉の充実と						
総合計画体系	施策	05	安心で安全な						
	基本事		子育てのため						
事業の目的	妊産婦	の医療に対す	る経済的な負担・	不安が軽減	咸される。				
事業の概要	500円1	は自己負担とな	係る自己負担分を よる。	E助成する。	. ただし、薬局	りを除いた医療	を機関ごとに月	額	
■事業実施結果	【実施								
		年度	5年度		6年				
事業費の推移	実績/当初予算				実統		当初		
		総事業費	7, 475		7, 21	16	9, 0	28	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	10.1	ボーロ 小小	+12	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	負担軽減された	年間医療費総額	千円	7, 455	7, 190	9, 000	9, 000	
	評価	」 ●達成、	既ね達成した (O多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の			うされ、妊産婦の						
評価と説明	説明								
見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
事業の方向性	〇見直		現状どおり継続	〇廃止・	 完了				
資源方向性 予算額 O拡大 ●現状 O縮小 業務量 O拡大 ●現状 O縮小									

			評価)							
事務事業名	結婚3	を援事業				事業開	始年度 平	成28年度		
担当課	総合政	女策部 総合政	な 策課		担当者	i 髙	橋 岳陽			
■事業の執行計		·画(Plan)】								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	05	安心で安全な							
	基本事	基本事業 06 次世代育成のための家族形成の支援								
事業の目的	結婚を	望むが出会い	が無い独身男女の)結婚の希望	望をかなえる					
事業の概要			が無い独身男女に 場を提供すること				5イベントを9	ミ施		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7至	丰度		
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績当		· 初			
		総事業費	5, 219		8, 4	98	7,8	当初 7,852		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	ti:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	JH1	宗1717	辛匹	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	婚活イベント参	加者数	人	40	138	140	140		
	成果	婚活イベントに 数	おけるカップル成立	組	10	28	25	30		
	評句	■ ●達成、	既ね達成した (O多少は達	成した 〇達	成できず		•		
達成度の		婚活グルス	メツアーとさくら	こまち婚σ	継続開催に加	え、栃木県と	の共催イベン	トを開催し、		
評価と説明	説明	月 より広域的	りな取り組みとし	て事業を展	開。また、よ	り若年層を対	象とした大規	模な友活イベ		
	ントを開催したことで、交際を求める男女間の出会いの場を提供することができた。									
見直し余地	判员	Ē ●数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性	●見直		見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 C)現状 〇縮小	\		

事務事業調書(:評価)								
事務事業名	不妊治	譇費助成事業			事業開始年度 平成26年度						
担当課	健康福	証証部 こども	政策課		担当者	f 岡I	田 裕美子				
■事業の執行計	画【計画(Plan)】										
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と	:安心の社会保障							
	施策 05		安心で安全な								
	基本事	業 06	次世代育成のための家族形成の支援								
事業の目的	不妊治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減することにより、治療に取組みやすい環境をつ										
	くる。										
+ 414 a 100 TF	子どもを望む夫婦が行う不妊治療のうち、医療保険の適用がなく高額な治療がかかる体外受										
事業の概要	精・顕微授精・人工授精の治療費用の一部を申請に基づき助成する。										
■事業実施結果											
		年度	5年度		6年度		7年度				
事業費の推移	実終	実績/当初予算 実績			実績		当初				
	総事業費		731		2, 558		6, 000				
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)									
指標の推移	指標	指標名称		34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1百1	景名	単位	実績	実績	計画	計画			
		てい 込 床 書 叶 犬	ch == ±4.71 %b	件	12	33	4E	45			
	成果	不妊治療費助成	中誀有些奴		12	33	45	40			
	- #-⊞	助成実人数に占	める妊娠届出者数の	%	37. 5	60	60	60			
	成果	割合		%	37. 5	00	00	00			
	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず										
達成度の	令和6年4月から要綱を改正し、保険適用、保険適用外の不妊治療費も助成対象としたこと										
評価と説明	説明	説明 で、不妊治療費助成申請者が増加したと思われる。(令和5年度までは保険適用外のみ助成									
	対象)										
見直し余地	判定	判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了											
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小										

1 100 1 VIVE 1 V	通常評	価事業 事後	:評価)								
事務事業名		子育て支援推	進事業			事業開	始年度 平	成26年度			
担当課	健康福	健康福祉部 こども政策課				田伯	代 直也				
■事業の執行計	·画【計画(Plan)】										
総合計画体系	政策										
	施策	05	安心で安全な	全な子育て環境づくり							
	基本事業 99 総合事業										
事業の目的	子育て支援サービス等の需要と供給のバランスがとれ、市民が安心して子育てできる。										
事業の概要	子ども・子育て支援事業計画に関する審議 事業が計画に即して実施されているか、年度ごとに点検・評価する。										
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年度		7年度				
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績		当初				
	総事業費		17, 883		13, 668		0				
■前年度の事業	分析【記	評価 (Check)									
指標の推移	指標	指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	JH1	示 口 你	辛四	実績	実績	計画	計画			
	成果	子ども・子育で	会議 開催回数	回数	1	2					
	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず										
達成度の	会議を9月及び12月に実施した。										
評価と説明	説明										
見直し余地	判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし										
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性	〇見直	し継続 〇明	状どおり継続	●廃止・	完了						
資源方向性	予算	[額 ●拡大	: 〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 C)現状 〇縮小				